

ガ ガ ボ ー ル

概要 周囲を壁に囲まれたフィールド内で、鬼がボールを当て続け、最後までボールに当たらずに残った選手が勝利という、ドッジボールに似たスポーツ。



対 象				場 所				時 期			
小学生以上				体育館・グラウンド				通年			
期待される活動の効果											
思考力	判断力	表現力	コミュニケーション能力	体力	生命の尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	問題解決能力	課題発見能力
	○			○					○		
活動人数 及び 時間				準 備 物							
○8人程度×2チーム ○1ゲーム10分程度				【青年の家で準備できる用具等】 ○囲い（3セット分） ○ボール ○ビブス ○ホイッスル ○ストップウォッチ （団体で準備するものではありません）							

【競技方法】

- ① 囲いを立てフィールドを作る。
- ② 囲いの中に両チーム全員入る（片方のチームはビブス着用）。
- ③ ホイッスルの合図でボールを投げ入れゲーム開始。
- ④ ボールのバウンドに合わせて、全員で「ガ・ガ・ボール」と掛け声をかける。
- ⑤ ボールを弾き（弾くのは誰でもよい）、そのボールが膝より下に当たったら（壁で跳ね返った場合も同じ）アウトとなり、当たった人は囲いの外に出る。
- ⑥ それを繰り返し、最後までボールに当たらずに残った人がいるチームの勝ちとなる。

【その他のルール及び留意点】

- プレーの最初は、ボールをフィールドに投げ入れて3バウンドするまで誰もボールに触れてはいけない。
- ボールを手で押さえて止めたり、ボールをつかんで投げることは禁止で、手のひらで弾かなければならない。
- ボールが壁に当たる前に、同じ人が2度ボールに触れたらアウトとなる。
- 味方が弾いたボールでも、膝から下に当たった場合はアウトとなる。
- 時間に制限がある場合は、終了時点で人数が多く残っているチームの勝ちとする。

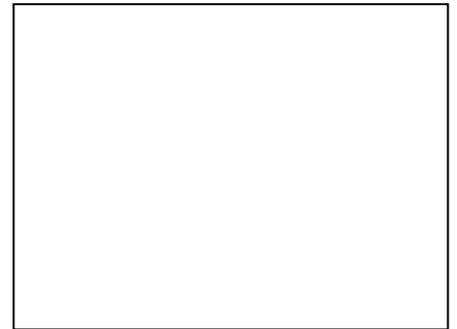
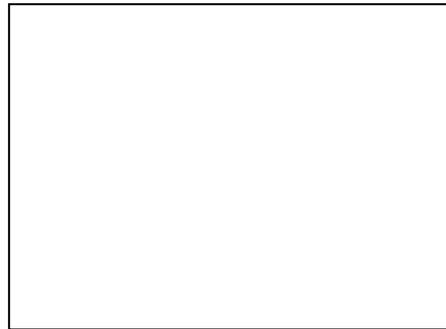
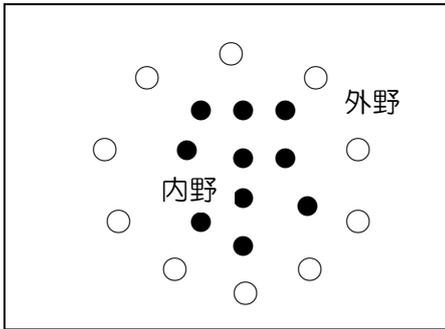
【活動のオススメポイント】

- 転がしドッジボールと似たスポーツで、基本的に膝下にボールが当たるので、当たっても痛くなく小さな子どもも安心して活動することができる。
- 狭い範囲の中でボールに当たらないように動き回らなければならず、とっさの判断力と敏捷性が養われる。



ガガボール（内・外野バージョン）

概要 ソフト化したボールを使用し、周りを囲んだ外野がボールを転がしながら、内野に当てるゲーム。



対象				場所				時期			
小学生以上				体育館				通年			
期待される活動の効果											
思考力	判断力	表現力	コミュニケーション能力	体力	生命の尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	問題解決能力	課題発見能力
	○			○					○		
活動人数 及び 時間					準備物						
○10人×2チーム ○1ゲーム3～5分程度					【青年の家で準備できる用具等】 ○ボール ○ホイッスル ○ストップウォッチ (団体で準備するものではありません)						

【競技方法】

- ①2つのチームに分かれる。
- ②1つのチームが円になり座る（外野）。この時、隣の人と手が届く程度に広がる。
- ③もう1つのチームが円の中に入る（内野）。
- ④ボールを円の中に入れ、外野がボールを手で弾きながら内野に当てる。
- ⑤弾いたボールが膝より下に当たった内野の人はアウトとなり、外野の円の外に出る。
- ⑥時間を決めて、内・外野を交代してゲームを行い、残った人数で勝敗を決める。

【その他のルール及び留意点】

- 外野はおしりを床につけて座る。
- 外野は必ずボールを弾かなければならず、来たボールを止めてはいけない。また、同じ人が続けて2度ボールに触れてはいけない。
- 外野がボールを弾くときは、ボールを弾ませてはいけない。
- プレー中は、内野の人は外野が作った円の外に出てはいけない。
- ボールが膝より上に当たった場合は、アウトとはならない。



【活動のオススメポイント】

- 転がしドッチボールと似たスポーツで、柔らかいボールが膝下に当たるので、当たっても痛くなく小さな子どもも安心して活動することができる。
- 狭い範囲の中でボールに当たらないように動き回らなければならず、とっさの判断力と敏捷性が養われる。